

生活クラブ・茨城

独自品放射能検査ニュース

2016.5.3 生活クラブ・茨城
 牛久センター:029-872-7521
 水戸センター:029-291-8280
 取手センター:0297-86-6800

■2016年度の放射能測定について

東日本大震災・原発事故から5年目となります。放射能汚染の問題や健康被害の不安は、決して終わることがありません。

生活クラブ茨城では、子育て世代を中心に組合員が抱えている放射能汚染に対する不安に向き合えるよう、単協独自取扱品の放射能検査を継続して行います。前年度同様に Ge(ゲルマニウム)半導体検出器を使用して、高感度測定を行っていきます。

生活クラブグループ全体では、事故直後から消費材の放射能検査を自主的に行ない、独自の放射能基準を設定して食べものからの内部被ばくリスクを少なくする道を拓いてきました。これまでに8万4千件を超える検査の実績と新たな検査体制の拡充のうえに4月から自主基準をさらに引き下げました。

生活クラブ茨城でも単協独自生産者と協力して自主基準値の下、共同購入運動を継続していきます。

■4月からの自主基準について

①自主基準値を現行の1/2以下に引き下げました。

事故から5年が経過し、8万件以上にのぼる生活クラブ独自の放射能検査でも、近年の検出値が大きく減少しているという背景があります。「すくすくカタログ」に掲載する食品は「不検出」を基準にする(6月から)等、各区分の基準値を見直し、引き下げています。

②「検出下限値」の目標を新たに低く設定します。

検出下限値とは、放射能検査の精度をあらわすもので、測定した検体(消費材など)の中に放射性セシウム等が、「ある」か「ない」かを判断できる限界の値をいいます。たとえば、検出下限値5Bq/kgとして検査し、「結果は不検出」となった場合、「その検体には5Bq/kgを超える放射性物質は含まれていない」ことが測定できたこととなります。(その検体に5Bq/kg以下の放射性物質が含まれている可能性は残ります。)(5Bq/kg かもしれないし、0.01Bq/kg かもしれない。)

つまり、「不検出」という結果を評価するときは、検出下限値がより低い検査の方が、精度の高い検査であるということになります。

③「すくすくカタログ」に掲載する食品は「不検出」を基準に

ベビーフードや粉ミルクなどが掲載されている「すくすくカタログ」。6月からは掲載する食品についてはすべて「不検出」を自主基準にします。直近1年以内の検査で不検出を確認した食品のみの掲載となります。(カタログ作成前に検査を行い、不検出のもののみが掲載されます。)

■げんき米生産体験田の放射能測定活動について

生活クラブ茨城独自のお米「げんき米」の取り組みとして、圃場の測定活動を行なっています。

2016年度は、4月2日に「まるごと茨城生産体験&産地見学会活動」として、6か所の圃場の空間線量・土壌の測定を行いました。今回は前回報告した空間線量と、新しく結果が出た土壌の測定報告をしています。

5月14日には田植えや稲刈り、草取りを行なっている生産体験田の空間線量と水の測定を行う予定です。

【測定機器】空間線量:シンチレーションサーベイメーターTCS-172B、HORIBA 環境放射線モニタ Radi(PA-1000)
 土壌および水田水:NaIシンチレーション検出器(株食環境衛生研究所にて測定予定)

今後は9月に稲刈り時の空間線量測定を予定しています。

●2016年4月2日 測定結果

【水田土壌検査結果】(単位:Bq/kg)

対象水田	ヨウ素131 (検出下限10)	セシウム134 (検出下限15)	セシウム137 (検出下限10)	セシウム 合計
鉾田市借宿	不検出	不検出	不検出	0
茨城町駒場	不検出	不検出	22	22
茨城町常井	不検出	不検出	不検出	0
笠間市小原O	不検出	不検出	不検出	0
笠間市小原T	不検出	不検出	不検出	0
水戸市開江	不検出	不検出	10	10

参考値:初年度(2012年3月5日採取)検査結果

対象水田	セシウム134 (検出下限20)	セシウム137 (検出下限10)	セシウム 合計
鉾田市借宿	74	86	160
茨城町駒場	63	78	141
笠間市小原	74	90	164
水戸市開江	134	149	283

セシウム合計は10~22Bq/kgで、初年度より低下しています。セシウム134の半減期は約2.07年であることから、福島第一原発事故から5年以上が経過したため放射性核種の崩壊の影響で減少し、不検出となったと思われます。

昨年と比較しても不検出の結果が増えており、セシウム合計は減少しています。

【空間線量測定結果(単位:μSv/h)】※水田内5か所の各3回測定値の平均

対象水田	空間線量						参考値:初年度(2012年3月5日)測定結果			
	0m	前年比	50cm	前年比	1m	前年比	対象水田	0m	50cm	1m
鉾田市借宿	0.07	0.00	0.06	-0.01	0.06	-0.01	鉾田市借宿	0.120	0.117	0.103
茨城町駒場	0.08	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	茨城町駒場	0.140	0.110	0.097
茨城町常井	0.07	0.00	0.06	0.00	0.06	0.00	笠間市小原	0.130	0.117	0.113
笠間市小原O	0.06	-0.03	0.06	-0.02	0.05	-0.02	水戸市開江	0.133	0.123	0.110
笠間市小原T	0.05	-0.02	0.05	-0.01	0.05	-0.01				
水戸市開江	0.06	-0.03	0.06	-0.01	0.05	-0.02				

空間線量は12年度(0m:約0.1μSv/h)から大幅に減少し、地上0m地点で0.06~0.07、1m地点で0.05~0.07となっており、昨年度と比較しても0.01程度の低下傾向が見られました(単位:μSv/h)。

【測定機器】空間線量:シンチレーションサーベイメーターTCS-172B
 HORIBA 環境放射線モニタ Radi(PA-1000)